



① 1階店舗からホール側を見る



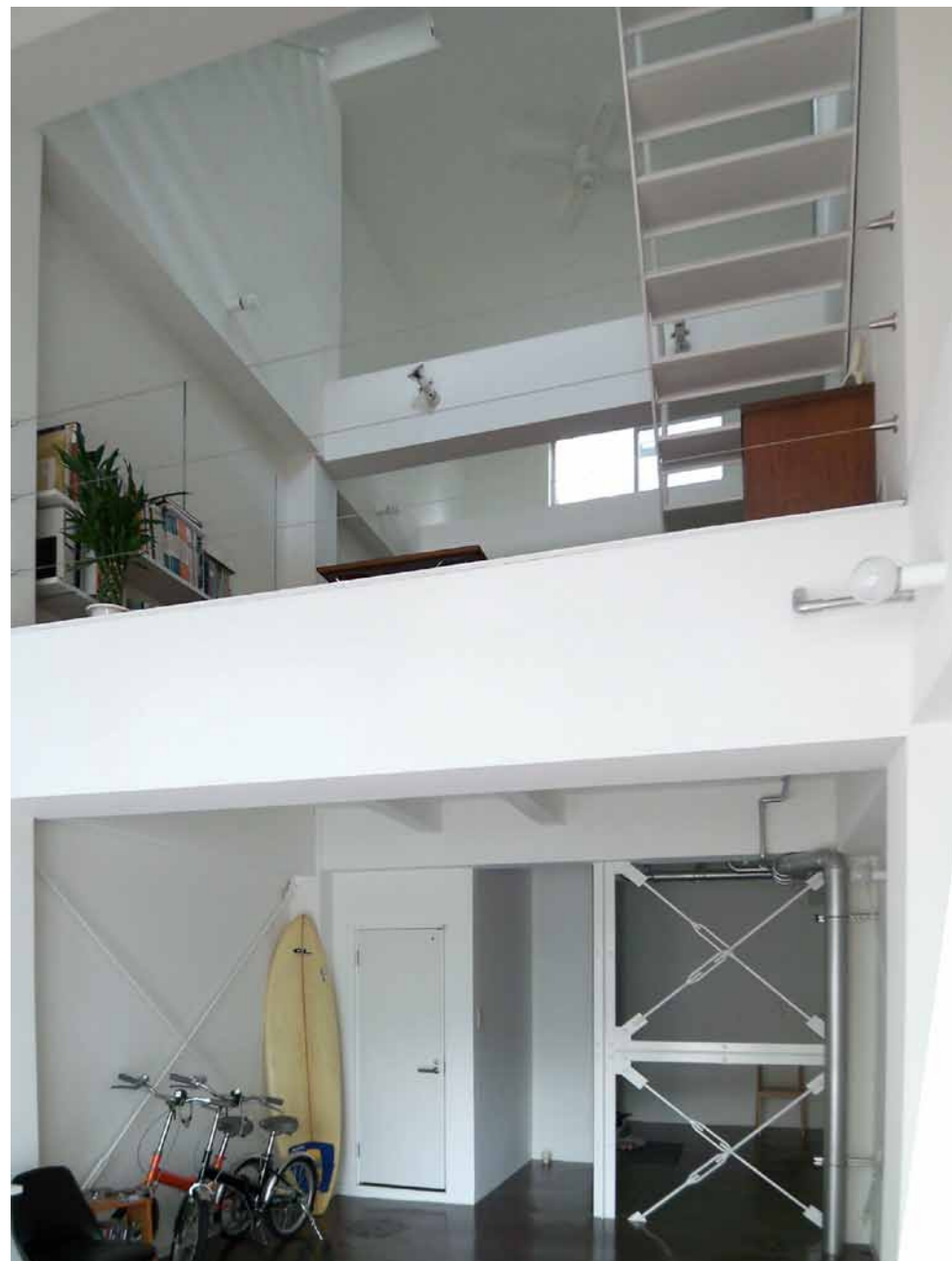
③ 3階洋室から和室を見る



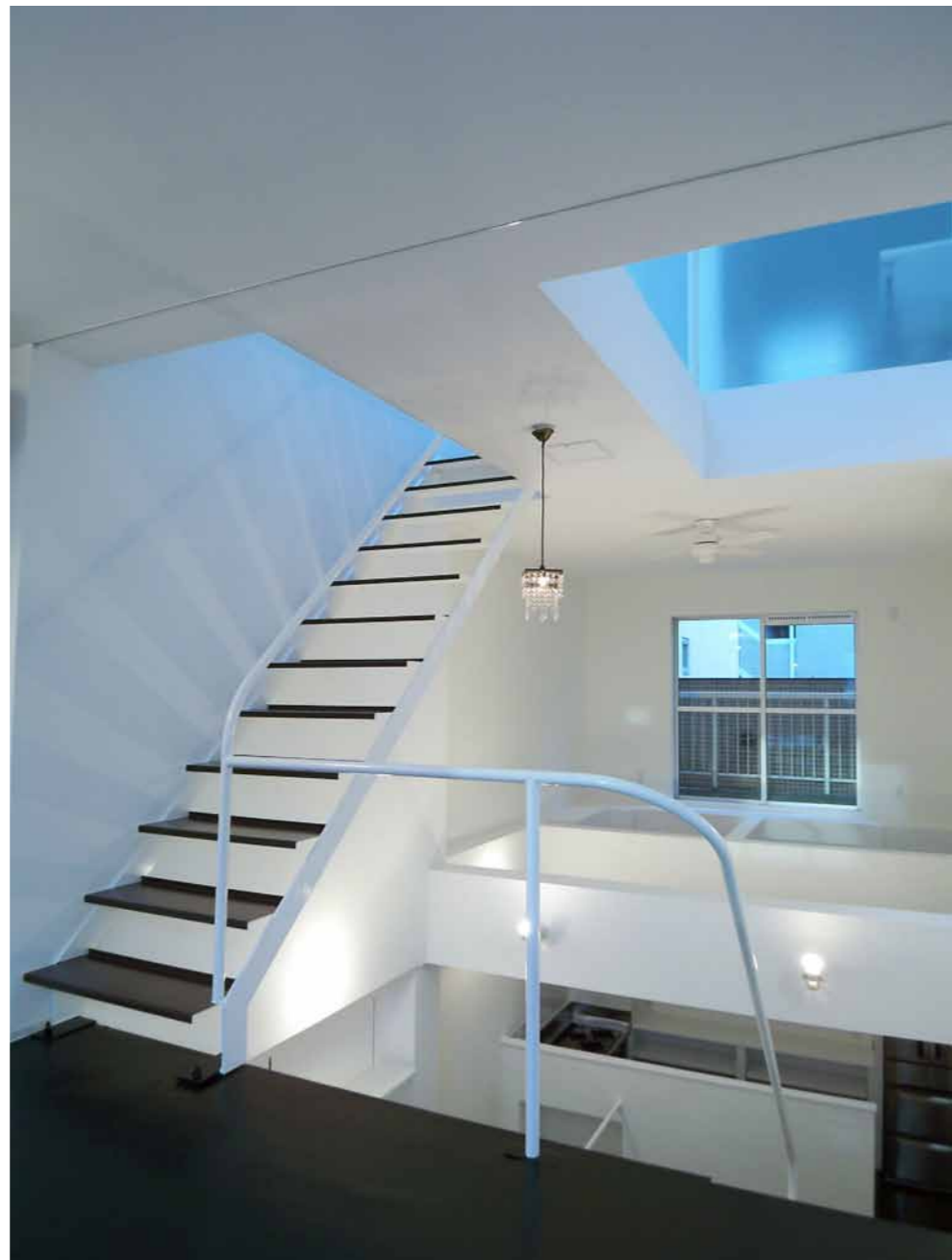
⑤ 4階和室から洋室を見る



⑦ 1階玄関ホールから洗面脱衣室を見る



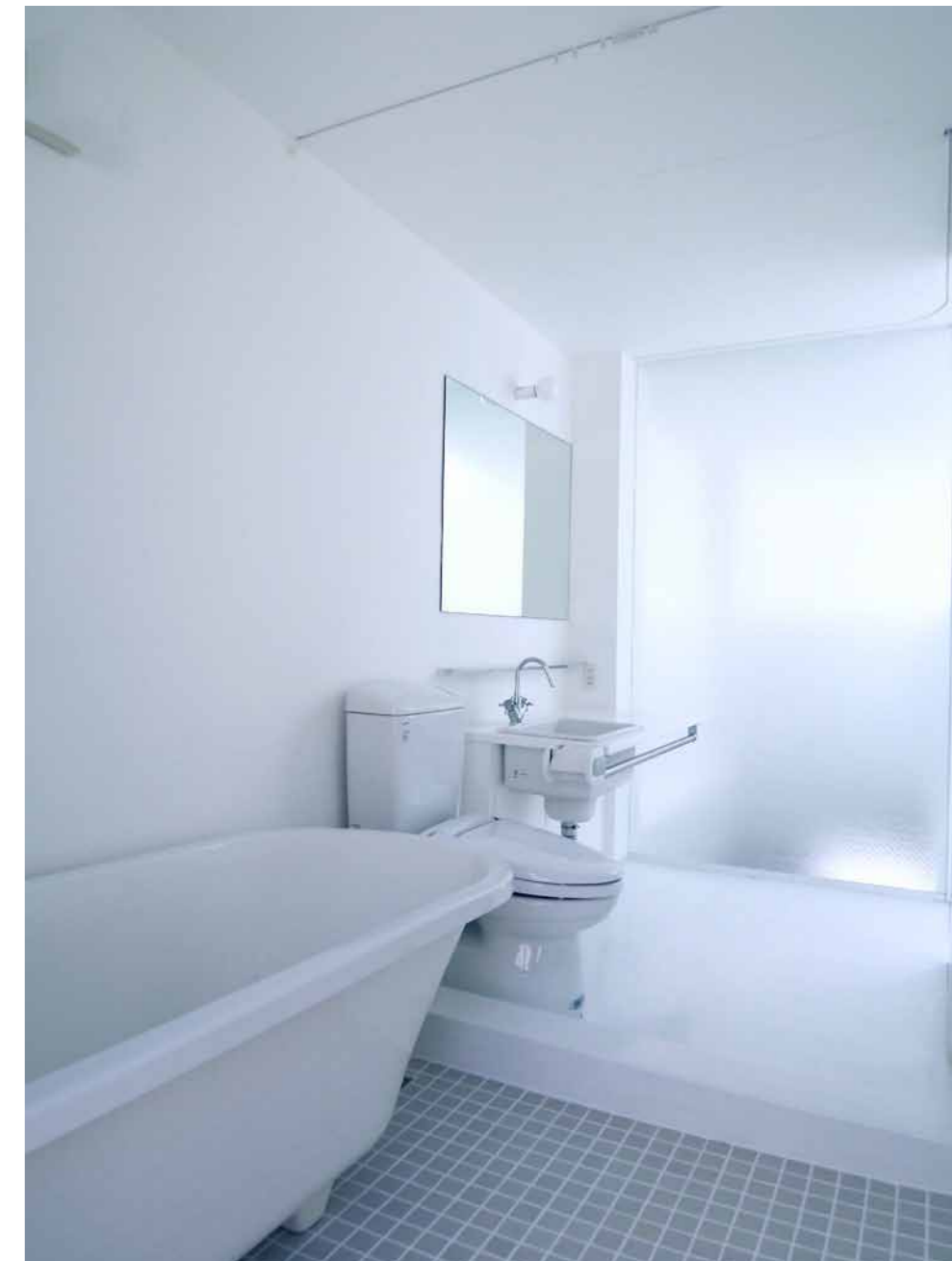
② インナーガレージからホールと2階スペース1を見る



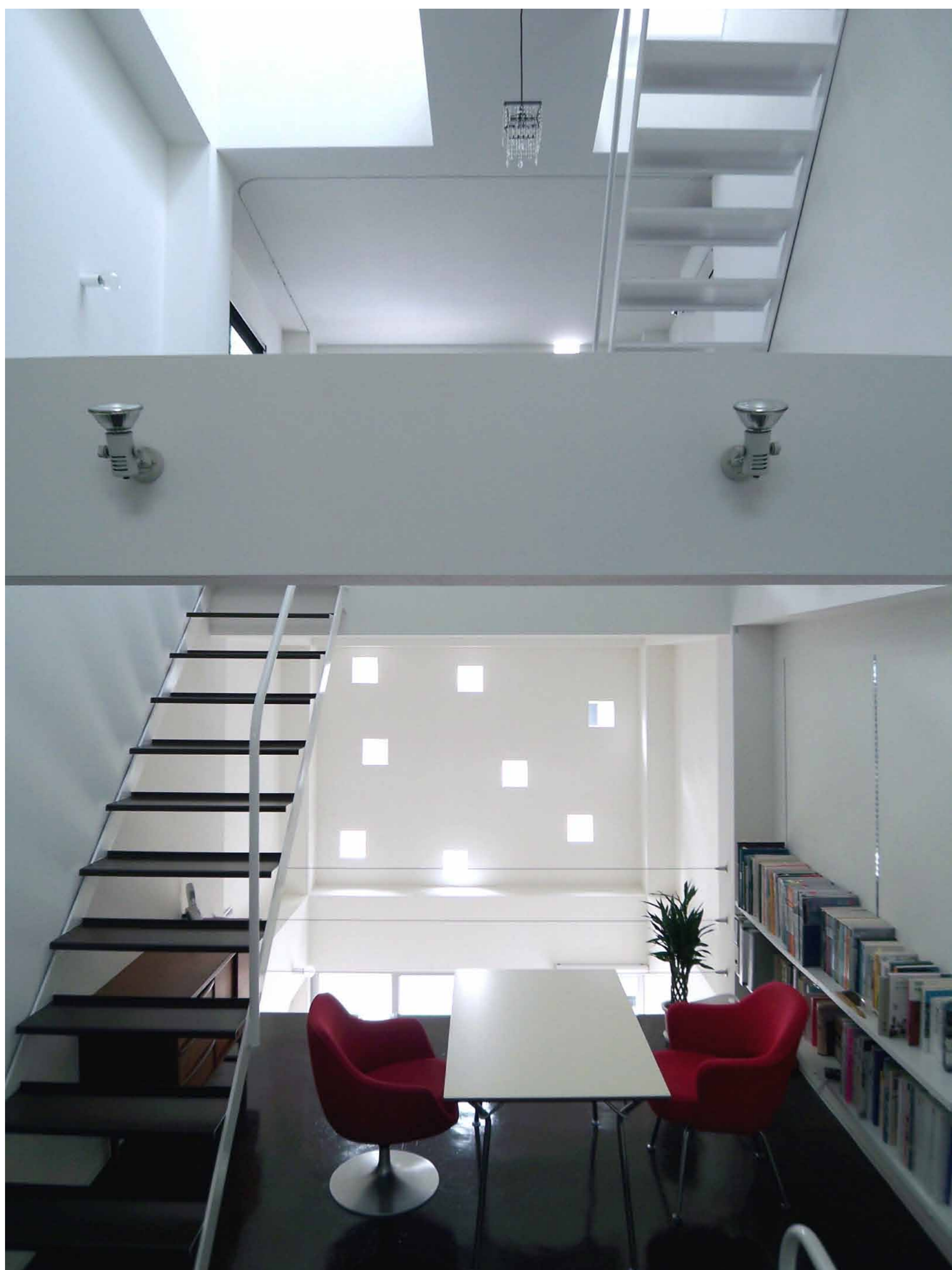
④ 中2階(改装前3階)スペース2から2階吹き抜を見る



⑥ 3階(改装前4階)裏り廊下からスペース3を見る



⑧ 3階(改装前4階)バスゾーンからパウダールームを見る



⑨ 2階キッチンゾーンからスペース1を見る

## Isビル ～減築・再生～

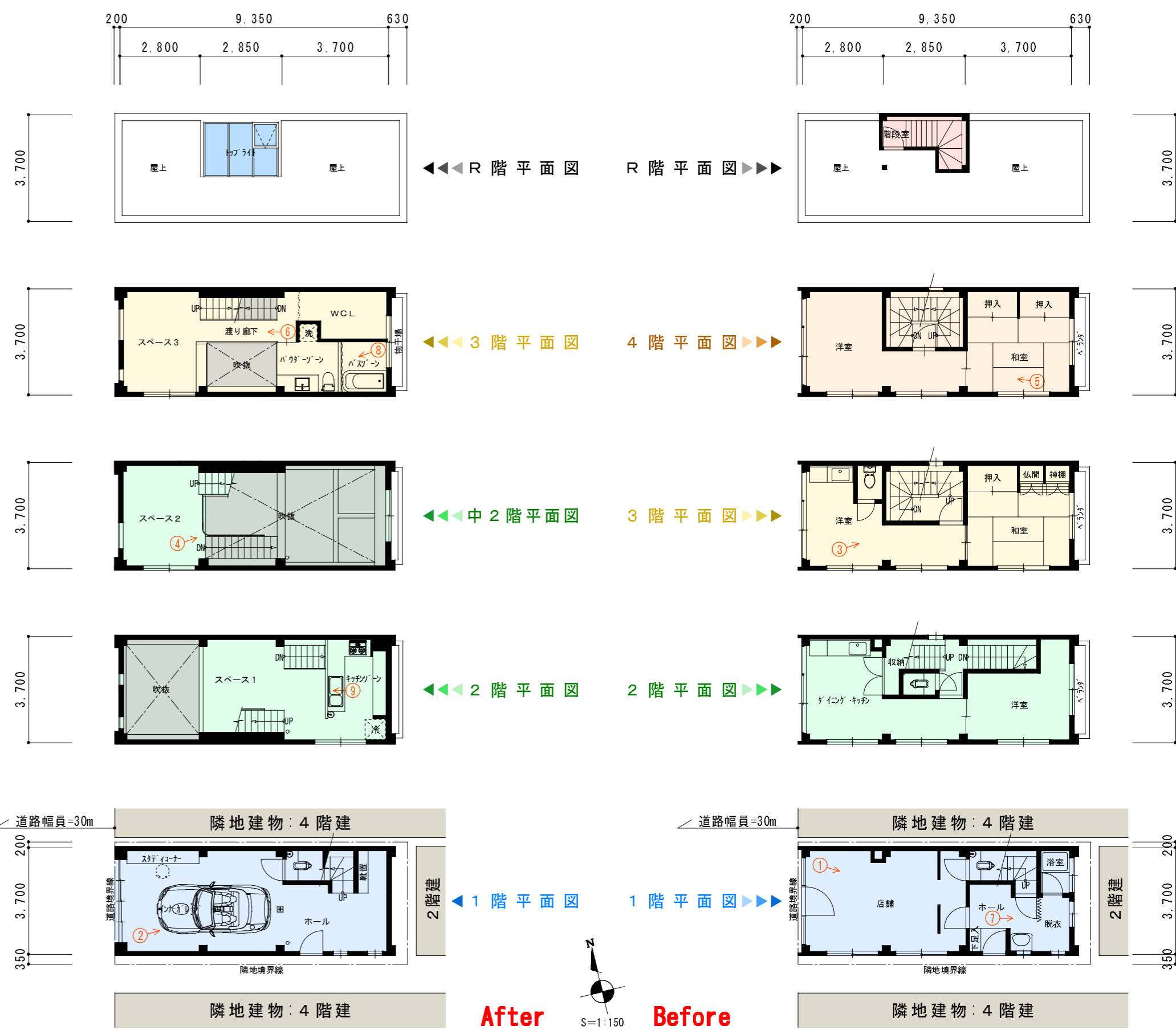
スクラップ&ビルドに違和感を覚えていた30代の夫婦は二人の住まいとして新築を買うのではなく、街中に取り残された築29年のくたびれた建物に魅力を感じて購入を決め、自分達のスタイルに合わせてリノベーションを行い「家」として住むことで建物の価値と存在意義を見出そうとした。

施主の要望は将来に渡って2人暮らしなので部屋数よりも、のびのびと暮らせる明るく広い住居スペースと車一台を置ける場所、それから街中でも人の目を気にせず青空を見ることができる場所が欲しいと望まれた。

本計画は、必要なスペースを確保した上で狭くて暗くしている要因の階段室や小さな部屋を大胆に削除して、適材適所に吹抜を設けて各スペースに大きなボリュームを生み出した。また、朽ちかけたペントハウスを撤去してガラスで覆うことで、青い空と安定した光を吹抜を通して各スペースに供給し、明るくて伸びやかな空間を提供した。トータルで吹抜を一層分配置できた事で建物の骨格を変えることなく4階建から3階建に変更が可能となり壁穴区画の排除が実現できた。

この小さな部屋を切り捨てて大きな空間を造るという減築作業は、建物荷重の軽減に繋がり少しの補強で耐震強度の向上が図れた。

この老朽化した建物は、新たに住みだす家主の想いとスタイルによって解体されずに再生されて、次の時代に向けて新たなスタートを切ることができた。



Before 外観



After 外観(周辺環境)

